

動物ふぁいる No.65
生き物ずかん

平川動物公園
アマミノクロウサギ

【平川動物公園 ☎261-2326 FAX261-2328】



アマミノクロウサギは、世界自然遺産に登録された奄美大島と、徳之島にだけ生息するウサギで、国の特別天然記念物に指定されています。

ウサギといえば長い耳を思い浮かべるかもしれませんが、アマミノクロウサギは耳が短く、丸々とした体形で、飛び跳ねません。夜行性のため、日中は巣穴に隠れて過ごし、夜になるとシイの実やワラビなどの食べ物を探します。

当園では現在、けがを負って保護された4匹のアマミノクロウサギが暮らしています。年に1・2回の特別公開以外は一般公開はしていませんが、保護したウサギは、定期的に健康状態のチェックや必要な治療を受けながら、飼育舎の中で元気に過ごしています。

アマミノクロウサギの保護を行っている動物園は、世界中で平川動物公園だけです。このような希少野生種の保護も、動物園の大切な役割です。

かごしまフォロワー
かごフォロ

イラストレーター
篠崎 理一郎 さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



ミュージシャンやファッションブランドとのコラボ、企業広告など、イラストレーターとして幅広く活躍されている篠崎さんにお話を伺いました。

幼少期から、落書きや漫画を描くことが好きでした。大学生の時に、コンテストへ出品する中で、さまざまなイラストレーターとの交流が刺激となり、まずはSNS投稿などの活動を始めました。大学院の卒業後には一般企業に就職しましたが、創作に専念するため、退職してフリーのイラストレーターになりました。

自分だけの表現を模索する中で、あえて「分かりやすさ」から離れ、「これは何だろう？」と思わせる「曖昧さ」を残した線画のスタイルにたどり着きました。このたび担当した第六次鹿児島市総合計画のイラストでは、「様々な人・モノ・コトが湧き出て、つながる未来」を桜島のイメージに重ねてみました。いつか表現したいと思っていた、桜島の大きなエネルギーを描けたと思います。鹿児島ならではのモノも描き入れたので、ぜひ見ていただきたいです。



今後も地元の鹿児島で、コロナ下ならではの表現などにも取り組んでいきたいです。自分の表現を志す皆さんも「すぐ分かること」にとらわれず、「曖昧さ」も含め、臆せずに自由な表現で挑戦を続けてもらえたらと思います。

(インタビューの詳細は広報課フェイスブックなどでチェックを)



学芸員オススメ! No.82
市立美術館の逸品

はしぐち ごよう なつそう の むすめ
橋口五葉 『夏装之娘』

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

鮮やかによみがえった五葉の遺作

五葉は日本画、洋画、デザインを経て1917年頃から木版画に精力的に取り組みましたが、1921年に病で亡くなります。本作は生前に主版(輪郭線の版)まで完成していたものを、五葉の没後30年余りの歳月を経て、おいの橋口康雄の監修の下、多色刷りされた作品です。康雄は東京美術学校卒業後、イギリスで版画を学び、戦後には五葉版画研究所を設立して、残された未完成の作品の一部を出版するなど、五葉芸術の継承に尽力しました。

本作は夏の盛りの頃に描かれ、暑さを和らげる涼しげな装いを通じて、季節感あふれる日本の女性美を表しています。線を重ねて表された、繊細な着物の生地質感には、五葉が江戸時代の浮世絵に学んだ表現が用いられています。

※5月29日(日)まで開催される「春の所蔵品展」で展示しています



ひろばサポーターがゆく センテラス天文館

【センテラス天文館 ☎221-1001】

“センテラス前”に全員集合!

待ちに待った「センテラス天文館」が先日オープン。「タカプラ前」で親しまれた待ち合わせスポットは、大きなビジョンと薩摩切子をイメージした高い天井が特徴的な「センテラススクエア」として生まれ変わりました。



ひろばサポーター
Maya



施設に入ると、「タカプラ」の名残も感じられるエスカレーターがお出迎え。幅広い世代が楽しめるようなお店が並びます。鹿児島初出店など魅力的なお店も多く、時間に余裕を持って行くのがお勧めです。

6階には、約300人を収容できる多目的ホール「センテラスホール」があります。千日町1・4番街区市街地再開発組合の牧野田さんによると、イベントなどで利用でき、大規模災害時には帰宅困難者の一時滞在施設としても活用されるとのこと。防災倉庫には水や食料などが備えられ、天文館地区の防災拠点としての大切な役割もあることが分かりました。



さらに、15階の展望スペースには、桜島と開聞岳が同時に一望できる雄大なパノラマが! お買い物ついでに記念撮影もお忘れなく。徒歩3分の距離には、センテラスパーキングもあり、車や自転車での来館にも配慮されています。

さあ、魅力がぎゅっと詰まった天文館の新たなランドマーク“センテラス前”に全員集合!